

《事務事業の手段と活動指標》【18】

| 事務事業を構成する細事業 | 手段(細事業の具体的内容) | 活動指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28計画 |
|---------------|------------------------------|-------------|----|-------|-------|-------|-------|
| ① 玉名観光協会事業 | 補助金交付・人的支援を実施することにより観光振興を図る。 | イベント開催回数 | 回 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| ② 玉名温泉活性化事業 | 補助金交付・人的支援によるイベント実施や環境整備 | イベント開催回数 | 回 | 15 | 15 | 15 | 15 |
| ③ 玉名観光ガイドの会事業 | 勉強会に参加したり、観光情報を提供する。 | 会議出席回数 | 回 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| ④ 荒・玉地域サイン事業 | 補助金交付による案内板等整備 | 案内板設置及び修繕箇所 | 箇所 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑤ 着地型観光商品開発事業 | 観光客の滞在時間を延ばすため体験型の旅行商品を開発する。 | 会議開催回数 | 回 | | 12 | 12 | 12 |

《事務事業の成果》【19】

| 成果指標(意図の数値化) | 計算方法又は説明 | 単位 | H25目標 | H26目標 | H27目標 | H28目標 |
|--------------|---------------|----|---------|---------|---------|---------|
| | | | H25実績 | H26実績 | H27実績 | |
| 1 観光協会会員数 | 団体及び個人会員数 | 団体 | 40 | 50 | 55 | 60 |
| | | | 45 | 53 | 57 | |
| 2 温泉旅館宿泊者数 | 県の観光統計による宿泊者数 | 人 | 100,000 | 100,000 | 102,000 | 110,000 |
| | | | 103,176 | 100,742 | 107,081 | |

《事務事業の評価》

| 評価項目 | 評価の視点 | 評価 | 評価の説明 |
|---------------|---------------|---|---|
| 妥当性 (判定) A | 実施主体の妥当性【20】 | 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。 | 観光客の増加に支障をきたす。 |
| | 目的の妥当性【21】 | 税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。 | |
| | 廃止・休止の影響【22】 | 事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。 | |
| 有効性 (判定) B | 目標の達成度【23】 | 成果指標の目標値は達成できたか。 | |
| | 成果向上の余地【24】 | 成果がもっと上がる余地はないか。 | |
| | 上位施策への貢献度【25】 | 上位施策の目的達成に貢献しているか。 | |
| 効率性 (判定) A | コスト低減の余地【26】 | コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。 | 今後は増加している海外からのインバウンドに対応するため受入れ体制の拡充を図る。また、玉名温泉観光旅館協同組合、九州看護福祉大学、行政の産学官による連携を図るため、「美と健康」をテーマにした温泉と鍼灸を活用した事業の協議を開始した。 |
| | 民間の活用の余地【27】 | 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。 | |
| | 執行方法改善の余地【28】 | 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。 | |
| | 事業統合の余地【29】 | 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。 | |
| 公平性 | 受益者負担の余地【30】 | 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。 | |

《今後の方向性と改善》

| | |
|--------------------|---|
| 今後の方向性【31】 | <input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】 |
| 判断理由及び見直し・改善の具体的内容 | 今後は増加している海外からのインバウンドに対応するため受入れ体制の拡充を図る。また、玉名温泉観光旅館協同組合、九州看護福祉大学、行政の産学官による連携を図るため、「美と健康」をテーマにした温泉と鍼灸を活用した事業の協議を開始した。 |
| 昨年からの見直し・改善状況【32】 | 地方創生の予算を活用し、受入れ体制の整備を行った。 |

■評価責任者記入欄■

| | | |
|------------------|--|----------------|
| 評価責任者(課長)の所見【33】 | 県内外だけではなく、海外からの観光客を積極的に取り込むため、市民・市民団体・観光関連事業所の受け入れ態勢の整備・支援を行う。 | 評価責任者 清水 千尋 |
|------------------|--|----------------|